

藤波こども園

令和7年度 園長だより No.6

令和7年11月28日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

“秋”を実感・満喫する子どもたち

暑さ厳しい夏が過ぎ、日本の季節に秋はなくなったのだろうかと思うほどに一気に寒さを感じるようになりましたが、子どもたちはいもほりに夢中になったり、園の周辺の散歩を楽しんだりして、“秋”を実感し、満喫している様子でした。



「大きなおいもが出てきた！」

～おいも掘りに大喜び～

★ホームごとに泰山寺で

泰山寺で栽培していただいたサツマイモをみんなで収穫しました。広々とした泰山寺の



畑に開放感を感じた後、ツルを引っ張ったり土を掘り起こしたりしておいも掘りを楽しみました。「こんな大きなおいもが出てきた!」「まだまだいっぱいある!」サツマイモが現れるたびに大喜びの様子でした。

★園の畑で雪組・桃組と一緒においも掘り

園の畑では、月組の子どもたちが春に植えておいたサツマイモがツルを伸ばして葉っぱをたくさんつけていました。そろそろおいも掘りができそうなとき、「雪組と桃組のみんなにもおいも掘りをさせてあげよう」の声にみんなが賛成し、雪組・桃組のお友だちの手を引いて畑に行 ➔



き、一緒においも掘りを楽しみました。雪組・桃組の子どもたちは、お兄さん・お姉さんに教えてもらいなが

らおいもを掘り、土の中から出てくるサツマイモに驚きの様子でした。

と～ってもおいしい焼きいも

「ありがとう!」「ごちそうさま!」

今年も大師山ボランティアサークルの森田一男さんをお願いし、焼きいもをしていただきました。森田さんは「高島市でのいい思い出を持ち続けてほしい」と市内各地で活動されています。



「焼きいも」には淵田常博さん、梅村頼子さん、秋永豊子さん、白井恭子さん、田村たま枝さん、淵田俊江さんにもお世話になりました。焼きいものおいしさと一緒に、たくさんの人に親切にしてもらったことを、きっと子どもたちは忘れないだろうと思います。

消防車と放水の見学

子どもたちからの的確に質問・感想



避難訓練の様子について消防署の方にご指導いただくことに併せて、消防車を園庭に乗り入れていただき、放水の様子を見せていただきました。迫力のある放水に驚き様子で見入った後、消防車について説明を聞きました。説明の後、

消防士さんから「何か質問や感想



はありますか」の問いかけがあり、たくさん子どもたちが手を上げたのです。そのとき、私は「何を言おうとしているのだろう、消防士さんや消防車のことを言えるのだろうか」と思ってしまったのですが、全く心配する必要はありませんでした。長いホースについての説明に対する質問でしょう、



ある子どもから「短いホースはないのですか？」という

質問。お越しいただいた消防士さんがすべて男性だったことに対してでしょうか、ある女の

子から「私も消防士になりたいです。女の子もなれますか？」という質問。幼い子どもたちからの質問に消防士さんは丁寧に「短いホースもありますよ。(実物を見せながら)この短いホースで、近くで燃えていたら消します。」「今日は男性ばかりが来ましたが、高島市の消防署にも女性の消防士さんがいます。男女関係なく誰でも消防士になれます。」と応えていただきました。そして後半、子どもたちからは感想も出ました。「消防車のホースから出る水、すごかった。」「消防車を近くで見られて嬉しかった。」「消防士さん、かっこいい。ぼくも消防士さんになりたい。」など、時と場所にぴったりの質問や感想を言っていました。

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

赤い羽根共同募金運動は1947年に「国民たすけあい運動」として始まりました。寄せられた募金は地域の福祉活動



に役立てられます。また、災害時には被災地支援にも役立ちます。募金箱は12月中をめどに藤波こども園に届けてください。ご協力をお願いします。

ご寄付をいただきました

青柳仏教会より200,000円のご寄付をいただきました。子どもたちが毎日楽しく過ごし、健やかに伸びることのできるよう、施設の充実のために使わせていただきます。ありがとうございました。